



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第8巻第
12号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第8巻第12号). 泌尿器科紀要 1962, 8(12): 742-742

ISSUE DATE:

1962-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112383>

RIGHT:

編集後記

日本学術会議ノ選挙モ終ツテ 新会員ガ決定シタ コノ会議モ 発足当時ハ大キナ抱負ト希望ヲ持ツテイタガ ソノ後ハ段々ニ影ガ薄レテ来タヨウニ云ワレテオリ ソレニハ種々ノ原因ガアルヨウダ、最近ニハ日本医師会カラモ 選挙運動ガ行キ過ギテイルトノ警告ガ發セラレタガ イズレニシテモ 選挙方法ヤ運営等ニ就テ 世ノ批判ヲ受ケル如キ事ノナイヨウニ 学者ニフサワシイ模範ノナ態度ヲ執リ 本来ノ使命ヲ達成スルタメニ 力強ク邁進シテ貰イタイモノデアル、大キナロヲ利クヨウダガ 一般ノ会員ハ本当ニソノヨウニ考エテイルト思ワレル、



先般ノ医科大学学部長会議デ インターン制度ヲ一応廃止シヨウトノ決議ガ出来タトノ事デアル、現在ノインターン制度ニハ 確ニ多クノ問題ガアル、大学病院ニテハ 学生ト医局員トノ間ニ介在シテ ムシロ 邪マ者扱イニセラレ 診療病院ニテハ 医員代リニ使用セラレル傾向ガアル、身分ノ保障ト経済的裏付けガナシ、然シ 本人ガ努力スルツモリニナレバ 利点モ少クハナイ 修業期間ガ長イト云ウ事ハ ソレダケ実力ガ付クワケダカラ 良イ事ニ相違ナイ、唯 誰デモガ ソウナルワケデハナク 又 修業期間ガ短クテ済メバ ソレニ越シタ事ハナイ、ソレデインターンヲ廃止スルナラバ 大学4年間ノ勉学方法ヲ充分ニ検討セネバナラスノハ当然デアル、医師免許ハ卒業ト同時ニ与エ 若シソレデ臨床の手腕ニ不安ガアルト云ウナラバ 指定病院ニテ1年間ノ臨床経験ヲ終ツタ後ニ 個人開業免許ヲ渡ス 即チ医師免許ト個人開業免許ハ別ニスル方法モ考エラレル、ソノヨウニナルナラバ 国家試験ハ廃止スルノガ本筋デアロウ



新制大学院設置ノ初メノ理想ハ 広範ナ知識ヲ持ツタ将来ノ指導者ヲ養成スル事ニアツタガ 現実ニハ ソノ目的カラ外レテイルト云ワザルヲ得ナイ ソノヨウニナツタ原因トシテハ 制度自体ノ不備ノ他ニ 周囲ノ事情トノ不調ガアル、ソコデ 大学院ノ都合ノヨイ点ハ 結局 学位論文審査ノ時期ガ早イト云ウ事 更ニ 4年間ハ赴任シナクテモヨイト云ウ事デアロウ コレデハ 本来ノ目的ニ沿ワス事ハ勿論デアリ コノ制度モ何トカセネバナラスデアロウ、考エレバ気ニカカル事ガ多イ(昭和37年12月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする、年間購読者を以て会員とする、
2. 会員は年間予約購読料金 1,200 円を前納する、1冊料金 120 円、払込みは振替口座番号 京都4772番、泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛、
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法等を御記入の上編集部宛、

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る、
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする、
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない、400字詰原稿用紙を用いること、附表、附図はなるべく欧文にすること、
4. 文献の書式は次の如くする、著者名: 誌名、巻数: 頁数、年次、
例、中野: 泌尿紀要、1: 110、昭30、Lazarus, J. A.: J. Urol., 45 527, 1941、
5. 300 語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること、希望の場合は当編集部にて翻訳します 抄録用の原稿を送ること、翻訳の実費は申受く、
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける、別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する、この場合には予め希望部数を申込むこと、特別掲載も考慮する、
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う、
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部、